

◎提言要旨（発言順）及び市長コメント

【4班（チーム名：スイーツ）の提言】

- ・海辺や絵を描いた壁などインスタ映えするスポットを作ったり、釣り場があることを生かして、海好き、釣り好きな人を増やしていったらどうか。
- ・釣り場を整備して、水中が見えるようになると、海をきれいにする意識が釣り人にも生まれてくる。
- ・また、海が好きな「海ガール」に情報発信をしてもらってはどうか。

【市長コメント】

- ・市の概要説明でもあったが、本市は三方が海に開けている。一方で、海辺にゴミが押し寄せてきているという現状もある。海辺にはゴミが非常に多い。きれいな海を守る活動が必要。毎年の一斉清掃では大量のゴミが集まる。普段からゴミを捨てないことや海洋プラスチックごみ、マイクロプラスチックごみの問題などを考えること。2050年には魚よりもマイクロプラスチックの量の方が多くなると言われている。浜っ子である皆さんには海を大事にしてほしい。
- ・釣り場の話も出たが、釣り場は今も作っているし、もっと身近にしたいと思っている。釣り客にはゴミを持ち帰ってもらうことやキャンプ場に来られるお客さんには、「来た時よりもきれいに」をキャッチフレーズにゴミの持ち帰りを呼び掛けている。
- ・ビーチバレーやビーチスポーツパーク境港などを通じて、海辺の利活用と海辺をきれいにする活動をしていきたいと思う。

【3班（チーム名：バスケ部多め）の提言】

- ・ショッピングモールや宿泊など色んな施設が複合した宿泊施設を建設してほしい。
- ・CO2を減らすことは健康のために、車ではなく「近場は歩こうキャンペーン」をしてはどうか。

【市長コメント】

- ・近くにはイオンモールもあり、皆生には宿泊施設がたくさんある。本市には水木しげるロードがあり、観光客がたくさん来るので「御宿野乃」というホテルができた。まずは人がたくさん来るということが第一。進出する企業にとって魅力のあるまちでなくてはいけない。
- ・「近場は歩こうキャンペーン」大変良いこと。今年の7月12日に豪雨があり、一部の道路や畑では冠水したところがあった。これは地球温暖化が影響していると考えられる。地球温暖化は本市だけでなく、世界的な問題。省エネやごみを減らすなど、身近にできることを「自分ごと」と捉えて、小さなことから行動を起こしてほしい。そのために市でも啓発活動に取り組んでいく。

【2班（チーム名：チームBTS）の提言】

- ・空地の利活用方法として、木を植えたり、子どもが遊べる場としてバスケットコートを作ってはどうか。
- ・空家を活用して、若者が集まるインスタ映えするような建物やお洒落なカフェを作ってはどうか。
- ・日頃から健康的な生活を意識して暮らすよう呼びかけてはどうか。
- ・ガスの排出量は少なくしたり、ゴミ拾いをもっとしてはどうか。
- ・境港市にはいろんな職業があることを伝えることは必要。
- ・使われていない田畑をもっと有効活用してはどうか。
- ・あまり使われていない道路はなくしてはどうか。

【市長コメント】

- ・本市には約800件の空家があり、空家率は全国の市町村の平均よりも少し高い。空家を解体した後に空地になった場所も増えている。空地は活用しないといけない。中浜地区では、空地に芝生を植えて子どもが遊べる場所に行っているところがある。バスケットコートを作るにしても土地の所有者の理解が必要。本市にはストリートバスケットやスケートボードをるところがない。今後、バスケットコート場などを整備していけたらと思う。
- ・駅前の鬼太郎の大きな絵が描いてある建物だとか、見る人が見れば価値のある建物はある。カフェもあるが、空家を活用したお洒落なカフェが増えれば良い。
- ・本市では高齢者が約33%いる。介護認定者が2,250人、高齢者の5人に1人は介護を受けているという状況。健康寿命を延ばすということを考えないといけない。そのために市の高齢者福祉計画・介護保険事業計画もある。地域を支える高齢者を作りたいと思っており、「いきいき百歳体操」やフレイル予防など市民の方が市民のために活動をしている。
- ・ゴミ拾い、CO2削減という提言もあった。環境対策にはしっかり取り組む。
- ・市内の荒廃農地、特に本市では、土地柄的に稲作に適していないため、田んぼの多くが荒廃農地になっているという現状。畑では、若い人たちが白ねぎの栽培に取り組んでいて、荒廃農地を再生して畑を広げている。1億円を売り上げる農家もあり、農家には手厚い支援がある。
- ・生活道路は基本的には使われている。ただ、効率よく使っていくということは大事なこと。

【1班（チーム名：チームなごみ）の提言】

- ・60歳以上の高齢者が元気に暮らせるために、高齢者限定の働ける場所を作ってはどうか。
- ・また、介護に携わる人を育てるために、介護の専門学校を作ってはどうか。

- ・空家は怖いというイメージがあると思う。境港市は妖怪のまちであるので、それを生かして空家を妖怪スポットとして活用してみてもどうか。
- ・廃校が決まった学校を盛り上げるために、生徒がスクールアイドルとして活動するというアニメを見た。境港市でもご当地アイドルを作り、盛り上げてみるはどうか。

【市長コメント】

- ・高齢者は100歳まで生きる時代になっている。働ける期間が長くなっているし、企業も高齢者向けの求人やハローワークでも高齢者向けの紹介もしている。キャリアを積んだ高齢者に働いてもらいたいというニーズもある。今後、定年も伸びていくと思います。
- ・境港総合技術高校は、9年連続で全員が介護の資格をとっていて、即戦力として働いている。介護の専門学校は、市内でなくとも県内にもある。現状では、総合高校で十分対応できていると思うし、必要であれば定員を増やすことなどもできる。
- ・全市的な空き家を妖怪スポットに活用する、非常に良いアイデアだと思う。所有者の許可をもらって貸してくれるところがあれば、やりたいという人がいるかもしれない。
- ・ご当地アイドルというのは、市内の中高生が自らやってほしい。市ももちろんPRなど応援する。